

将来に向けた病院のプランに関する調査

～関係者間での医療体制の検討に向けて～

記載について（記載の前にご確認ください）

- 2017年7月1日現在の状況を記載ください。
- 病床機能別の状況は、平成29年度病床機能報告において報告した内容を記載してください。
- 具体的な記載方法については、記載例を確認してください。
- 箇所にはすべて自院の状況を記載してください。
- 内容についてお問い合わせさせていただくことがあります。
連絡先等について下記に記載いただきますようお願いいたします。

担当部署	職階	担当者名
電話番号	FAX番号	Eメールアドレス

第1項 病院の現状と課題

1-1. 病院の基本情報

番号	項目	自施設の状況		留意事項
(1)	医療機関名			保健所に届けている正式名称
(2)	開設主体			
(3)	開設年月日			
(4)	自施設の理念			
(5)	基本方針			
(6)	住所			
(7)	敷地面積			
(8)	延床面積			
(9)	建物竣工年月日			建物別に建物名と竣工年月日を記載ください。 医療機能を有する施設に限ります（学校や倉庫等で使用している建物は対象外）
(10)	病床数	許可病床数	稼働病床数※	
	一般病床			当該病床を有しない場合「0床」と記載
	療養病床（自動計算）	0床	0床	
	（内）医療療養病床			当該病床を有しない場合「0床」と記載
	（内）介護療養病床			当該病床を有しない場合「0床」と記載
	精神病床			当該病床を有しない場合「0床」と記載
	感染症病床			当該病床を有しない場合「0床」と記載
	結核病床			当該病床を有しない場合「0床」と記載
	全体合計（自動計算）	0床	0床	
	【許可病床数と稼働病床数に差がある場合】 病床を稼働していない理由 （非稼働病床を有する理由）			
(11)	平均在院日数			2016年7月1日から2017年6月30日
(12)	手術室数			
(13)	主な派遣大学医局			複数回答可（該当がない場合は、「該当なし」と記載ください。）
(14)	標榜診療科目数			
	標榜診療科目名			保健所に届けている標榜診療科目

※稼働病床数：許可病床数から、過去1年間（2016年7月1日から2017年6月30日）に一度も入院患者を収容しなかった病床数を差し引いた病床数

項目	項目	自施設の状況		留意事項	
(15)	入院患者の状況（2016年7月1日～2017年6月30日）	患者数	(内) 圏域内の患者割合 (%)	【報告対象】 一般病床・療養病床のみの患者の状況を記載ください。 一般病床・療養病床を有しない場合は、回答の必要はありません。	
	新規入院患者数				
	うち、予定外の救急医療入院の患者				
	在院患者延べ数				
	退院患者数				
(16)	入院患者の状況（2015年7月1日～2016年6月30日）	患者数	(内) 圏域内の患者割合 (%)	【報告対象】 一般病床・療養病床のみの患者の状況を記載ください。 一般病床・療養病床を有しない場合は、回答の必要はありません。	
	新規入院患者数				
	うち、予定外の救急医療入院の患者				
	在院患者延べ数				
	退院患者数				
(17)	入院患者の状況（2014年7月1日～2015年6月30日）	患者数	(内) 圏域内の患者割合 (%)	【報告対象】 一般病床・療養病床のみの患者の状況を記載ください。 一般病床・療養病床を有しない場合は、回答の必要はありません。	
	新規入院患者数				
	うち、予定外の救急医療入院の患者				
	在院患者延べ数				
	退院患者数				
(18)	経営に関する状況（2016年度）				
	人件費率※1			医業収益に占める人件費の割合	
	病院内での自施設職員に対する人材育成にかかる費用の割合※2			医業収益に占める人材育成にかかる費用（職員研修費等）の割合	
	(国、都道府県、市町村からの) 補助金・負担金				
	補助金・負担金名	種別（申請先）	負担金・補助金名		
		国			複数項目あるときは、それぞれについて記載ください。
		都道府県			複数項目あるときは、それぞれについて記載ください。
市町村				複数項目あるときは、それぞれについて記載ください。	

※1：人件費率＝人件費/医業収益

①人件費＝給与費（職員の給料、賞与、退職金、法定福利費）

②医業収益＝入院診療収益＋特別の療養環境収益＋外来診療収益＋その他の医業収益

入院診療収益＝入院患者の医療に係る収益

（医療保険、公費負担医療、公害医療、労災保険、自賠責、自費診療収益等）

特別の療養環境収益＝入院患者の医療に係る収益のうち特別室の特別料金徴収額

外来診療収益＝医療保険、公費負担医療、公害負担医療、公害医療、労災保険、自賠責、

自費診療収益等

その他の医業収益＝保健予防活動収益、医療相談収益、受託検査・施設利用収益、文章料等の収益

※2：病院内での自施設職員に対する人材育成にかかる費用の割合

＝病院内での自施設職員に対する人材育成にかかる費用/医業収益

①病院内での自施設職員に対する人材育成にかかる費用

＝病院内において自施設職員を対象として実施している研修にかかる費用

②医業収益＝上記参照

(19) 自施設の職員数（医師、看護職員、その他専門職、事務職員等）※

職種	常勤職員数 (従事者の実人数)	非常勤職員数 (従事者の常勤換算) (少数点第2位四捨五入)
医師		
看護師		
准看護師		
看護補助者		
助産師		
事務職		
その他（上記以外）		
合計	0人	0.0人

※職員数については、病床機能報告における常勤職員数、非常勤職員数の定義を参考に記載してください。

1-2. 病床機能にかかる病院の現状

(1) 一般病床・療養病床

※一般病床・療養病床を届出している場合、下記について回答ください。

入院基本料・特定入院料について、「35.特殊疾患入院医療管理料」、「39.小児入院医療管理料4」、「46.地域包括ケア入院医療管理料1」、「47.地域包括ケア入院医療管理料2」を病床単位で届出を行っている場合、「病棟単位で届けている入院料」については、該当病床を差引いた病床数を記載ください。例えば、一般病棟（一般病棟10対1入院基本料）40床のうち、地域包括ケア入院医療管理料1届出病床が10床ある場合は、一般病棟10対1入院基本料を「30床」、地域包括ケア入院医療管理料1を「10床」とご回答ください。

入院料基本料・ 特定入院料	病室単位 での届出 (35),(39), (46),(47) のみ回答	病床 4機能	病床区分 (一般or療養)	病棟数	許可 病床数	稼働※ 病床数	新規入棟患者数 (2016年7月1日～ 2017年6月30日)	在棟患者延べ数 (2016年7月1日～ 2017年6月30日)	退棟患者数 (2016年7月1日～ 2017年6月30日)
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									

※稼働病床数：許可病床数から、過去1年間（2016年7月1日から2017年6月30日）に一度も入院患者を収容しなかった病床数を差引いた病床数

(2) 自施設が有する医療機能（5疾病4事業及び在宅医療に関する事項）当てはまる項目について○を選択

疾病・事業	医療機能の有無
がん	
脳卒中等の脳血管疾患	
心筋梗塞等の心血管疾患	
糖尿病	
精神疾患	
救急医療	
災害医療	
周産期医療	
小児医療	
在宅医療	

(3) 地域連携の状況

① 地域連携診療計画料

項目	機関数・件数
届出連携医療機関数	
地域連携診療計画料加算実績 (2016年度件数)	

② 紹介率・逆紹介率

年度	紹介率 ※1	逆紹介率 ※2
2016年度		
2015年度		
2014年度		

※1：紹介率＝（紹介患者数＋救急患者数）÷ 初診の患者数

※2：逆紹介率＝ 逆紹介患者数 ÷ 初診の患者数

③ 退院・転院先の医療機関等の状況

※2016年7月1日から2017年6月30日の1年間に退院した患者の退院先・転院先施設数について回答してください。

なお、A患者がD病院、B患者がD病院にそれぞれ転院した場合などは、転院先として同じ病院になるので1施設としてのカウントしてください。

施設区分	施設数
病院	
有床診療所	
介護老人保健施設	
介護老人福祉施設	
養護老人ホーム	
軽費老人ホーム	
有料老人ホーム	
認知症高齢者グループホーム・認知症 対応型老人共同生活支援事業	

(4) 耐震化※の状況

※医療機能を有する施設に限ります（学校や倉庫等で使用している建物は対象外）

1-3. 自施設の課題

(1) 現在の課題（複数回答可）当てはまる項目について○を選択

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1 医師の確保 |
| <input type="checkbox"/> | 2 看護師の確保 |
| <input type="checkbox"/> | 3 リハビリ職の確保 |
| <input type="checkbox"/> | 4 平均在院日数に関する要件（入院基本料）の維持 |
| <input type="checkbox"/> | 5 病床稼働率の低下 |
| <input type="checkbox"/> | 6 退院・転院先医療機関の確保 |
| <input type="checkbox"/> | 7 看護必要度に関する要件（入院基本料）の維持 |
| <input type="checkbox"/> | 8 建物の老朽化 |
| <input type="checkbox"/> | 9 耐震性の確保 |

(2) その他の課題（自由記載）

--

第2項 今後の方針

※第1項を踏まえ具体的な方針について記載してください。


2-1. 地域において今後担うべき役割【病床機能】

該当項目について優先順に数値を入れてください（同じ順位も可）。（該当しない項目には「-」を入れてください）

<input type="text"/>	1 高度先端医療を提供する機能
<input type="text"/>	2 地域で基幹となる医療を提供する機能
<input type="text"/>	3 急性期医療（主に全身麻酔を伴う手術やICU・HCU等の集中治療が必要な患者を受け入れる機能）
<input type="text"/>	4 急性期医療【サブアキュート】（肺炎や軽度の外傷など比較的軽症な疾患を持つ患者を受け入れる機能）
<input type="text"/>	5 回復期医療【ポストアキュート】（急性期後の在宅復帰に向けた患者を受け入れる機能）
<input type="text"/>	6 回復期医療（リハビリテーション医療を提供する機能）
<input type="text"/>	7 慢性期医療（長期療養を支える機能）
<input type="text"/>	8 訪問診療・訪問看護


2-2. 地域において今後担うべき役割【診療機能】

該当項目について優先順に数値を入れてください（同じ順位も可）。（該当しない項目には「-」を入れてください）

<input type="text"/>	1 がん治療
<input type="text"/>	2 緩和ケア（入院）
<input type="text"/>	3 脳血管疾患治療
<input type="text"/>	4 心血管疾患治療
<input type="text"/>	5 糖尿病治療
<input type="text"/>	6 精神疾患治療
<input type="text"/>	7 救急医療
<input type="text"/>	8 災害医療
<input type="text"/>	9 周産期医療
<input type="text"/>	10 小児医療
<input type="text"/>	11 認知症治療
<input type="text"/>	12 感染症治療（新興・再興感染症の患者の受け入れ等の機能）
<input type="text"/>	13 その他  { 詳細： <input style="width: 500px;" type="text"/> }

2-3. 将来に向けた検討事項（複数回答可）

該当項目について優先順に数値を入れてください（同じ順位も可）。（該当しない項目には「-」を入れてください）

<input type="text"/>	1 主となる病床機能の転換
<input type="text"/>	2 診療科目の見直し（増加）
<input type="text"/>	3 診療科目の見直し（減少）
<input type="text"/>	4 病床数のダウンサイジング
<input type="text"/>	5 他病院との統合・再編
<input type="text"/>	6 病院の建て替え（概ね5年以内）：一部建替え含む
<input type="text"/>	7 病院の建て替え（概ね6年から10年以内）：一部建替え含む
<input type="text"/>	8 その他  { 詳細： <input style="width: 500px;" type="text"/> }

第3項 2025年に向けた具体的なプラン

※第2項を踏まえ具体的な計画について記載してください。

「3-1」「3-2」「3-3」のいずれかの項目に該当する場合、「3-6」を作成してください。

3-1. 病床機能について

※一般病床・療養病床を届出ている場合、下記について回答ください。

(1) 2025年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無

1 予定あり 2 検討中 3 未検討・予定なし



「1 予定あり、2：検討中」の場合下記から選択してください。（複数回答可）

- 1 病床機能（入院基本料もしくは病床4機能）の変更
- 2 介護医療院への転換
- 3 介護老人保健施設への転換
- 4 その他介護施設・福祉施設への転換
- 5 病床数の変更

地域医療介護総合確保基金（病床転換に対する一部経費の補助金※）の活用の希望

※補助金については下記大阪府HPを参照ください。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/iryo/byouin/29byoushou.html>



変更理由と詳細（自由記載）

(2) 2025年の病床機能と病床利用率（介護施設へ転換分は記載の必要ありません）

※入院基本料・特定入院料については、2017年1月時点の基本料で考えた場合の将来像をお答え下さい。また、2025年に目標・目安としている病床利用率も記載ください。

入院基本料・特定入院料について、「35.特殊疾患入院医療管理料」、「39.小児入院医療管理料4」、「46.地域包括ケア入院医療管理料1」、「47.地域包括ケア入院医療管理料2」を病床単位で届出を行う場合、「病棟単位で届けている入院料」について、該当病床を差し引いた病床数を記載ください。例えば、一般病棟（一般病棟10対1入院基本料）40床のうち、地域包括ケア入院医療管理料1届出病床を10床届け出る予定の場合は、一般病棟10対1入院基本料を「30床」、地域包括ケア入院医療管理料1を「10床」とご回答ください。

	入院料基本料・ 特定入院料	病室単位での届出 (35),(39),(46),(47) のみ回答	病床 4機能	病床区分 (一般or療養)	病棟数	稼働病床数	病床利用率※ (2025年)
1							%以上
2							%以上
3							%以上
4							%以上
5							%以上
6							%以上
7							%以上
8							%以上
9							%以上
10							%以上
11							%以上
12							%以上
13							%以上
14							%以上
15							%以上
16							%以上
17							%以上
18							%以上
19							%以上
20							%以上

3-2. 診療科の見直しについて

(1) 2025年に向けた診療科の見直しの予定の有無

1 予定あり 2 検討中 3 未検討・予定なし



※「1 予定あり、2：検討中」の場合下記から選択してください。（複数回答可）

- | | | |
|--------------------------|---|--------|
| <input type="checkbox"/> | 1 | 診療科の新設 |
| <input type="checkbox"/> | 2 | 診療科の廃止 |
| <input type="checkbox"/> | 3 | 診療科の統合 |



※具体的な方針及び計画（自由記載）

（新設等の場合）具体的な人員確保の方策
（廃止等の場合）廃止される機能を補う方策

3-3. 病院の建物・設備の改修について

(1) 2025年に向けた建物・設備の整備・改修予定の有無

1 予定あり 2 検討中 3 未検討・予定なし



※「1 予定あり、2：検討中」の場合下記から選択してください。（複数回答可）

- | | | |
|--------------------------|---|-----------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1 | 病院の老朽化解消 |
| <input type="checkbox"/> | 2 | 病院の耐震化整備 |
| <input type="checkbox"/> | 3 | 病院の災害対策（自家発電・受水槽等）の整備 |
| <input type="checkbox"/> | 4 | 病院の省エネ設備の整備 |
| <input type="checkbox"/> | 5 | 病院の狭隘化の解消 |
| <input type="checkbox"/> | 6 | その他 |



※建物・設備の整備・改修予定の詳細（自由記載）

3-4. 地域連携について

※2025年に目標・目安としている紹介率・逆紹介率を記載ください。

年度	紹介率	逆紹介率
2025年度	%以上	%以上

※1：紹介率＝（紹介患者数＋救急患者数）÷ 初診の患者数

※2：逆紹介率＝ 逆紹介患者数 ÷ 初診の患者数

3-5. 経営に関する項目について

※2025年に目標・目安としている費用の割合を記載ください。

年度	人件費率※1 【10%単位】	人材育成費用 割合※2 【1%単位】	(国、都道府県、市町村からの) 補助金、負担金の額 【百万円】
2025年度	%以下	%以上	百万円

※1：人件費率＝人件費/医業収益

・人件費＝給与費（職員の給料、賞与、退職金、法定福利費）

・医業収益＝入院診療収益＋特別の療養環境収益＋外来診療収益＋その他の医業収益

入院診療収益＝入院患者の医療に係る収益

（医療保険、公費負担医療、公害医療、労災保険、自賠責、自費診療収益等）

特別の療養環境収益＝入院患者の医療に係る収益のうち特別室の特別料金徴収額

外来診療収益＝医療保険、公費負担医療、公害負担医療、公害医療、労災保険、自賠責、
自費診療収益等

その他の医業収益＝保健予防活動収益、医療相談収益、受託検査・施設利用収益、
文章料等の収益

※2：人材育成にかかる費用の割合＝人材育成にかかる費用/医業収益

・人材育成にかかる費用＝病院内の職員の研修にかかる費用

・医業収益＝上記参照

3-6. プラン達成に向けたスケジュール

※「3-1」（病床機能）・「3-2」（診療科目の見直し）・「3-3」（建物・設備の改修）のいずれかで「1 予定あり」に該当する場合、下記に具体的な年次スケジュールを作成してください。

	取組内容	到達目標
2018年度		
2019年度		
2020年度		
2021年度		
2022年度		
2023年度		
2024年度		
2025年度		
2026年度以降		

【参考】6病院意見交換会における調査結果表(一部加工)

第2項 今後の方針

2-1. 地域において今後担うべき役割【病床機能】 ※優先度 高 1 > 3 低

医療機関名	1 高度先端医療を提供する機能	2 地域で基幹となる医療を提供する機能	3 急性期医療(主に全身麻酔を伴う手術やICU・HCU等の集中治療が必要な患者を受け入れる機能)	4 急性期医療【サブアキュート】(肺炎や軽度の外傷など比較的軽症な疾患を持つ患者を受け入れる機能)	5 回復期医療【ポストアキュート】(急性期後の在宅復帰に向けた患者を受け入れる機能)	6 回復期医療(リハビリテーション医療を提供する機能)	7 慢性期医療(長期療養を支える機能)	8 訪問診療・訪問看護
	1	1	1	2	-	-	-	-
	1	1	1	1	2	-	-	-
	1	1	1	1	-	-	-	2
	-	1	1	1	2	2	-	2
	-	-	2	1	2	2	3	2
	-	-	-	1	2	2	3	2

2-2. 地域において今後担うべき役割【診療機能】 ※優先度 高 1 > 3 低

医療機関名	1 がん治療	2 緩和ケア(入院)	3 脳血管疾患機能	4 心血管疾患機能	5 糖尿病治療	6 精神疾患治療	7 救急医療	8 災害医療	9 周産期医療	10 小児医療	11 認知症治療	12 感染症治療	13 その他
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-
	-	2	-	-	1	-	1	1	-	1	-	-	-
	1	1	1	1	-	1	1	1	1	1	2	2	2
	1	2	1	1	1	2	1	1	1	1	1	2	-
	1	2	1	1	1	-	1	1	-	2	1	-	1
	-	-	-	1	3	-	2	-	-	-	-	-	2

2-3. 将来に向けた検討事項 ※優先度 高 1 > 3 低

医療機関名	1 主となる病床機能の転換	2 診療科目の見直し(増加)	3 診療科目の見直し(減少)	4 病床数のダウンサイジング	5 他病院との統合・再編	6 病院の建て替え(概ね5年以内)	7 病院の建て替え(概ね10年以内)	8 その他	詳細
	1	2	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	1	
	-	1	-	1	-	-	-	-	
	1	-	-	-	-	2	-	2	
	-	-	-	-	-	-	-	1	
	-	-	-	1	-	-	-	-	